

令和8年3月19日
学校法人トヨタ学園 理事長
増田義彦

祝辞 豊田工業大学 令和7年度卒業生のみなさんへ

豊田工業大学の学部を卒業された皆さん、大学院の修士課程を修了された皆さん、また、博士課程を満了し学位授与された方、ほんとうにおめでとうございます。今日、晴れの日を迎えることができたのは、皆さん一人ひとりが積み重ねてきた毎日の努力の成果です。心から敬意を表したいと思います。

また、これまでの学生生活を振り返れば、ご指導いただいた先生方や大学事務の方々、諸先輩、後輩、友人、さらに、ご理解とご支援をいただいた派遣企業の皆様、保護者の皆様など、多くの方々に支えられてきたことに改めて気づくと思います。これらの方々への感謝の気持ちも大切にしてください。

ここの会場名は、豊田喜一郎記念ホールとなっています。豊田喜一郎氏は、国産の自動車事業を興し、今年が設立 89 周年となります。その立上げの苦労などから、人材こそが産業を発展させる力の本質と理解されており、事業が発展した折には自ら大学を設立し産業を発展させる人材を育てたいとの強い想いを抱いていました。その想いを、トヨタ自動車の社会貢献活動として 1981 年、45 年前に実現したのが豊田工業大学です。

このような背景から、本学は、「豊かな人間性と創造的な知性を備えた実践的技術者を育成し、合わせて深く専門の学術を研究し、もって学術文化及び社会の発展に寄与する」ことを目的としています。

今日ここに学士、修士、博士の学位を授与された皆さんは、これまでのキャンパスライフで、「豊かな人間性」の涵養、「創造的な知性を備える」学びと挑戦、「実践する力」を実験学習や学外実習、海外研修などで体験し、知らず知らずのうちに、優れた素質が身についています。

皆さんがこれから向き合う社会は、まさに『複合的危機、すなわちポリクライシス』の時代です。生成 AI の性能向上はめざましく、従来は専門スキルと考えられていた知的作業が急速に陳腐化する傾向にあります。産業構造さえも見直されようとしています。また、国際社会では融和よりも分断が深められ地域での戦争も起きています。さらに、国内では生産年齢人口の急速な減少という避けがたい構造変化に直面しています。

つまり、皆さんは、これまでの『成功体験』が通用しない、予測困難な荒波のなかに船出していくともいえるでしょう。

しかし、世界がどれほど複雑化し予測困難でも、その根幹には常に『人』がいます。本学で培った自らの人間力と、困難に立ち向かう創造的な知性と実践力は必ず皆さんの力強い支えになります。

予測困難な変動の時代は、見方を変えれば『創造的破壊』による新たな可能性に満ちた時代でもあります。自信を持って、次のステージへと進み、未来を拓く挑戦をして欲しいと思います。

ここで、次のステージへと進むにあたり、ひとつお願いしたいことがあります。それは「人生を急がないでいただきたい」ということです。

皆さんは、まちがいなく、少なくとも70歳までは現役で活躍する世代です。これから自分の想いや夢に向かっていく時間は、十分にあります。やり直しができる時間もあると思います。

世間の風評や他人の言葉に煽られて、焦った気持ちになって自分を見失わないように気を付けてください。自分と向き合いながら、多面的、多元的な思考に努め、行動し、常に学びを続けて成長を重ねていただきたく思います。

さて、本学の卒業生は既に3400人を超えています。本学では、皆さんが育った学び舎として、卒業生の方々を支援し、卒業生のネットワークが役立つように、同窓会活動や卒業生が参加できるイベントなど支援を進めています。大学を離れても、折に触れ、大学のホームページにアクセスするなどして同窓生、在学生や本学の活動の様子に興味を持ってください。

最後になりますが、何事につけても『体と心の健康』がその基盤です。いろいろな困難や苦難に対処するときも健康第一ということを念頭に置いて対応し、乗り切ってください。

卒業生のみなさんが、それぞれの立場で活躍して戴くことを祈念して、私からのお祝いのメッセージと致します。

本日は、おめでとうございます。

(スピーチ5分)